



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 増田製粉所
 コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武政 亮佐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 岩永 和弘
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-681-6701

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,341	6.1	186	18.6	200	20.8	108	18.1
29年3月期第1四半期	2,492	6.0	157	89.1	165	86.3	91	166.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 155百万円 (24.5%) 29年3月期第1四半期 125百万円 (88.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.85	
29年3月期第1四半期	10.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,515	4,934	51.4	480.50
29年3月期	7,657	4,836	56.3	472.71

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,380百万円 29年3月期 4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				6.00	6.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	1.0	260	4.6	270	6.4	140	13.9	15.36
通期	8,300	3.7	420	9.4	430	19.0	280	15.5	307.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,000,000 株	29年3月期	10,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	882,986 株	29年3月期	882,986 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,117,014 株	29年3月期1Q	9,119,385 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び通期連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第129回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び通期連結業績予想は以下のとおりとなります。

- | | | | |
|--------------------|------------|----|--------|
| 1. 平成30年3月期の配当予想 | 1株当たり配当金 | 期末 | 6円00銭 |
| 2. 平成30年3月期の連結業績予想 | 1株当たり当期純利益 | 通期 | 30円71銭 |

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、消費者の低価格・節約志向が強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成29年4月から平均4.6%引き上げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23億4千1百万円（前年同期比1億5千1百万円減、6.1%減）となりましたが、営業利益は1億8千6百万円（前年同期比2千9百万円増、18.6%増）、経常利益は2億円（前年同期比3千4百万円増、20.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8百万円（前年同期比1千6百万円増、18.1%増）、四半期包括利益は1億5千5百万円（前年同期比3千万円増、24.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、小麦粉需要の低迷に加え、相次ぐ原料小麦の価格変動、販売競争の激化等、厳しい状況下で推移いたしました。当社は、主力製品である「宝笠印小麦粉」をはじめ、国内産小麦で製造したこだわりのある製品の積極的な販売活動を推進するとともに、生産性向上およびコスト削減に努めました。この結果、売上高は13億4千5百万円（前年同期比8千7百万円減、6.1%減）となりましたが、営業利益は9千9百万円（前年同期比1千1百万円増、13.4%増）となりました。

②食品

食品事業におきましては、乾麺需要の低迷等の影響をうけ、売上高は9億9千6百万円（前年同期比6千3百万円減、6.0%減）となりましたが、高付加価値商品の販売およびコスト削減に注力した結果、営業利益は8千4百万円（前年同期比1千8百万円増、28.5%増）となりました。

当社グループの売上高は、上半期と下半期とでその構成内容に季節要因による著しい相違があります。これは、当社グループの食品事業において、主要製品である乾麺の需要期が夏場であり、4月～8月に売上が集中する傾向にあるためであります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末に比べ8億5千7百万円増加し、85億1千5百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ8億9千1百万円増加し、55億5千6百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が5億6千万円、現金及び預金が3億5千3百万円、商品及び製品が2億5百万円増加した一方で、原材料及び貯蔵品が1億9千9百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少し、29億5千9百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が2千6百万円増加した一方で、有形固定資産が5千1百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7億6千万円増加し、35億8千万円となりました。この主な要因は、長短借入金が増加した一方で、未払法人税等が5千2百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加し、49億3千4百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,032,164	1,385,969
受取手形及び売掛金	922,088	1,482,371
商品及び製品	1,059,927	1,265,692
原材料及び貯蔵品	1,523,151	1,323,693
繰延税金資産	41,777	29,183
その他	87,280	71,847
貸倒引当金	△1,470	△2,593
流動資産合計	4,664,919	5,556,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,228,227	1,208,342
機械装置及び運搬具(純額)	581,275	552,689
土地	494,931	494,931
その他(純額)	33,365	30,365
有形固定資産合計	2,337,799	2,286,328
無形固定資産		
その他	31,822	28,584
無形固定資産合計	31,822	28,584
投資その他の資産		
投資有価証券	492,404	518,988
長期貸付金	1,590	1,420
繰延税金資産	412	467
その他	133,795	128,644
貸倒引当金	△5,071	△5,071
投資その他の資産合計	623,131	644,448
固定資産合計	2,992,753	2,959,360
資産合計	7,657,673	8,515,526

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,461	444,044
短期借入金	1,310,994	2,083,738
未払法人税等	104,943	52,920
その他	339,927	404,203
流動負債合計	2,132,326	2,984,906
固定負債		
長期借入金	488,551	386,230
繰延税金負債	56,336	63,375
退職給付に係る負債	73,577	76,362
その他	69,953	69,953
固定負債合計	688,418	595,921
負債合計	2,820,745	3,580,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	3,755,294	3,808,643
自己株式	△204,197	△204,197
株主資本合計	4,118,735	4,172,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,998	208,669
その他の包括利益累計額合計	190,998	208,669
非支配株主持分	527,193	553,944
純資産合計	4,836,927	4,934,699
負債純資産合計	7,657,673	8,515,526

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,492,985	2,341,542
売上原価	2,000,859	1,818,759
売上総利益	492,126	522,783
販売費及び一般管理費	334,574	335,875
営業利益	157,551	186,908
営業外収益		
受取利息	90	91
受取配当金	7,590	7,669
保険返戻金	1,099	5,068
その他	1,609	1,597
営業外収益合計	10,390	14,426
営業外費用		
支払利息	2,184	1,102
その他	121	111
営業外費用合計	2,306	1,214
経常利益	165,635	200,120
特別利益		
固定資産売却益	259	131
特別利益合計	259	131
特別損失		
固定資産除却損	142	—
特別損失合計	142	—
税金等調整前四半期純利益	165,753	200,251
法人税等	49,359	62,430
四半期純利益	116,393	137,821
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,503	108,051
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,890	29,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,777	18,037
その他の包括利益合計	8,777	18,037
四半期包括利益	125,171	155,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,950	125,722
非支配株主に係る四半期包括利益	24,220	30,135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,432,697	1,060,288	2,492,985	—	2,492,985
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,656	1,971	44,628	△44,628	—
計	1,475,354	1,062,259	2,537,613	△44,628	2,492,985
セグメント利益	88,187	65,538	153,725	3,825	157,551

(注) 1. セグメント利益の調整額3,825千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,345,022	996,520	2,341,542	—	2,341,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,364	1,869	44,234	△44,234	—
計	1,387,387	998,389	2,385,777	△44,234	2,341,542
セグメント利益	99,965	84,240	184,206	2,701	186,908

(注) 1. セグメント利益の調整額2,701千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。